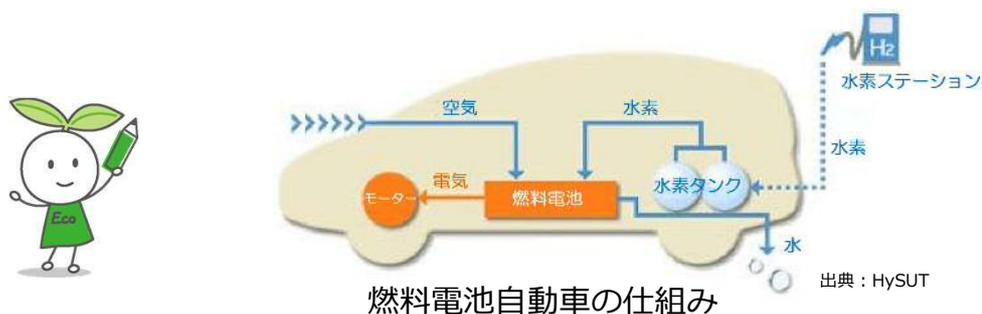


川崎市の燃料電池自動車(FCV)の普及に向けた取組

水素は、多様なエネルギー源から製造でき、利用段階で二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーです。エネルギーの安定的な確保や環境負荷の低減等に大きく貢献することが期待されています。

○ 燃料電池自動車とは

- ◆ 燃料電池自動車（FCV：Fuel Cell Vehicle）は、水素を燃料とし、走行時に水しか排出しないエコカーであり、水素と酸素の化学反応によって発生した電気を使って、モーターで走る自動車です。
- ◆ ガソリン自動車がガソリンスタンドで給油するように、燃料電池自動車の燃料となる水素は、水素ステーションで充填します。
- ◆ 1回の水素補給で、約650～750km（ガソリン自動車と同等）の長距離走行ができます。



二酸化炭素ゼロ
有害ガスゼロ
走行時に排出するのは水だけ



○ 燃料電池自動車のメリット

環境に優しい

二酸化炭素の排出や有害な排気ガスがなく、排出するのは水だけ！

快適な走行性能

ガソリン車と比べて、走行時の騒音や振動が少ないため、快適！

災害時も安心

FCVを電源にして、一般家庭の1週間程度の電気を供給することが可能！

多様なエネルギー源から製造可能

太陽光などの再生可能エネルギーから水素の製造が可能！

地球に優しい エコカー！

燃料充填もスムーズ

約3分で満充填することが可能で、ガソリン自動車と同等の長距離走行が可能！

○ 燃料電池自動車の普及に向けた取組

公用車に燃料電池自動車を導入するとともに、水素利用を身近に感じていただけるように燃料電池自動車を活用した普及啓発を進めています。



市公用車に導入した燃料電池自動車



イベント等による普及啓発

水素利用の普及拡大と
社会認知度の向上